# 鳥栖公民

第14号　昭和31年5月10日　発行

発行所　鳥栖市中央公民館
佐賀県鳥栖市（電話534番）

発行人　佐一郎
編集人　宮原真
印刷人　松隈伊見


## 市政の常識

★行政区域　鳥栖市では現在七、五六〇世帯が五六の行政区に区分され、一区の規模は一三世帯から五二七世帯まで大小さまざまこの中に戸籍、地籍関係で大字、小字があり、大字数は一九、小字になるとチトややこしく、地元の人さえ場所や名を知らないものもあって全部で五四八。市では行政区と字とを一本にすることを計画中で、これは地方自治法第二六〇條の規定で手続が進められる。

## 五月の行事

▼日赤共同募金月間、11日▼赤ちゃん会鳥栖市決選会（保健所）12・13日▼鳥栖バラ会展示会（議事堂）▼膠チフス、パラチフス予防注射始まる（月末まで）15日▼獣魂祭（議事堂）16日▼鳥虫駆除と井戸消毒始まる（30日まで）17日▼米屋の狂詩懇会（市内全域）19日▼北部地区農業委員会、21日▼南部地区農業委員会、27日▼南部地区自動電話改式

## 筆随　思い出

野村茂照

昭和二十七年の春、時の九州鎮西総督府正官であった中尾文雅氏、現法務省行政局長官が部下の専門家数人と共に関ヶ原の丘ヶ合古地（鏡崎八幡神社）の現地視察をされたことがあった。九州に新らしく特別少年院と医療少年院を作るための下調べである。

この話が一度傳わるや九州各県で猛烈な誘致運動が行われ、土地無償提供、或いは国庫用建物付土地提供等の條件まで持ち出して来る県もあった。

新設予定の少年院は、その收容定員五〇〇名、教官約五〇名とされる所謂「ムショ」の様な建物でなく、自然の美しい丘陵に、そのまま学園、寮、運動場、教官住宅、職員住宅、医療施設、農場、畜舎、養鶏場、養豚場、養蜂場、温室、ビニールハウス、ガラス温室、ビニール温室、ビニール育苗場、ビニール育雛場、ビニール育成場、ビニール育成場、ビニール育成

新生活運動

# 田代町で結婚規約を作る

## ―将来は市内全域へ―

その1

△結婚式の費用が安くて簡単にすむことは誰でもが願▽△うことなのだが、それがなかなか実行されない。▽△〝新生活運動〟の一環として、このほど田代町公民▽△館で作られた公営結婚規約を中心に結婚簡素化のあ▽△り方を調べてみた。▽

田代町では現代町町公民館の新築と同時に、長袖、留袖各一揃の花嫁衣裳を備えている。このほど公営結婚規約案を作つたことから、三月から四月にかけて各町内毎に結婚簡素化の座談会が行われた。

その席上この規約は大へん好評で、差当り各部落に推進委員を決めることになつたが、これは単に田代町全域に広めなければ効果があがらないという意見もあり中央公民館にも検討中である。次に、田代町の公営結婚規約を紹介してみよう

◇媒酌人　媒酌人は先づ規約を固く守り当人双方の健康診断書を取交わさせたうえで、公民館で挙式させる。

◇結婚　一生固め（婚入）は一升酒親、新夫婦のみにとどめ一容或いは料納とする。結納は一万五千円以内に止め酒肴は一升一鱈、お茶は折茶とし婚方の返礼は禁止。

◇結婚式　挙式は公民館で行うことを原則とするが、止むを得ないときは部落推進員と合議のうえ適当な場所を選ぶことができる。運搬会費、出台敷儀として森列者は最少限度にとどめ式殿は備付の貸衣裳を利用する。髪は和洋髪自意。

◇披露　本客、親類、知己友人披露は同時に行い、料理は一人酒を含め三百円以内。見立客はお茶のみ程度ですましし、近所茶露は挨拶廻りまたは茶菓程度とする。衣裳びらきや道具見せは絶対やらない。

◇調度品　双方賠合のうえ最少限度にとどめ、人目にたたぬようにする。

◇挙式方法　公民館が世話一切を受持ち本客、披露客すべて一席で宴をすます。三三九度には媒酌人と双方の両親のみが参加し、式後公民館長または分館長が祝辞及び記念品を贈る。

料理は、新夫婦、媒酌人を除いて膳を設し折詰とする。本客には別に二百円以内の引物を添えることができる。

◇婚約の届出　婚約がととのつたときは当事者または保護人は速に部落推進員に届出る。

◇式の運び方

開式　着席（新郎新婦、媒酌人双方の両親）

親子の盃

新夫婦の記念写真撮影

新夫婦退席

来賓着席（席に名札をつける）

来賓挨拶（席に名札をつけて最少限度にとどめ、人目にたたぬように）

見知り合いの盃（茶菓を出す）

媒酌人の挨拶

親戚の挨拶

祝電（公民館長または分館長、親戚友人）

万歳三唱（乾杯）

閉式

新婚旅行（随意）

# 毎月一日を公休日

## 麓町山浦部落

その2

麓町山浦（区長＝内田源三郎氏）では、四月から毎月一日を部落の公休日とすることに決め、この日は農家は勿論、商売を営む者も仕事を休んで、みんなが公民館に集つて親睦する。

その挨拶の形式の中から將来の部落の福利厚生や催しといつたものが話し合われる。働くばかりが能ではなく、たまにはみんなが一堂に集まることによつて何ものかを生み出そうというのがその主旨。

五月一日も約百名が公民館に集まり色々の協議のあと、中央公民館から映写係を招いてゆつくり映画の観賞を行つた。

# 火事はすぐ電話一一九番へ

# 立入測量地実施

四月から六月一ばいの予定で、都市計画街路図作製の実地測量を次の區域内で行うため、関係民有地に立入ることになりますので宜しく御了承下さい。

なお、立入る係員は市の公印をおした腕章をつけております。

測量地域

▽鳥栖駅前―本通り―西工前▽専売公社裏―大正町―車路▽大正町通り―高校横―大木川▽高道路―曽根崎四ツ角▽三木松―職安横―才二小学校▽高校前―土井住宅▽東町―四町―高工裏▽曽根崎三叉路―藤木▽泗井西―藤木―今泉―藤木▽東町―地下道―今泉

# 幡崎三島部落で道路補修

基里町幡崎＝區長伊田政三氏＝では、四月十四日が行われる部落内日吉神社の十二年の燈年ごとに三日間人員と総計費六〇万円を費やして、大修典の年に当るが、今年は一日間に留めて部落内の道の改修をやろうということになり、去る三月二十九日から四月十日までの十三日間、部落民除出で道路の改修や拡張に当つた。

この結果、延七百余名の人員と総計費六〇万円を費やして、延和十四・五年から始めたという幡鄙が現在となり、数少い福岡県の隣愛好会、九州洋蘭会の会員で、米国AOS誌にも紹介された程だ開花期は〝花と共に歩む〟と共に開花期は〝花と共に歩む〟と呼ばれ賞ましい話だが、三十余年手しおにかけた苦労は子供以上に可愛いという。

来年は福岡、佐賀方面で展示会を行い、將来は理想的な温室も作りたいと野口さんは張切つている。（写真は野口さん）

# つつじと共に33年

浅間のアザレヤ（オランダつつじ）に囲まれた野口貞雄さん（五三）の家はいつも真昏のように明るい。鳥栖市今泉の野口さんは、去る三月国鉄を退職されたばかりだが大正十四・五年頃から小林新さん（鳥栖市郡木）の指導でこの花を栽培し当時の月給よりも高い鉢を一本二本と殖やして今日では七十一種四百鉢となつた。この仕かが、昭和十四・五年から始めたという幡鄙が現在となり、数少い福岡県の隣愛好会、九州洋蘭会の会員で、米国AOS誌にも紹介された程だ開花期は〝花と共に歩む〟と呼ばれ賞ましい話だが、三十余年手しおにかけた苦労は子供以上に可愛いという。

来年は福岡、佐賀方面で展示会を行い、將来は理想的な温室も作りたいと野口さんは張切つている。（写真は野口さん）

# 人（回終）⑥

## 辯護士　橋本武人（はしもと たけと）（鳥栖町）

明治三十一年生。鳥栖小学校卒業。昭和二年弁護士開業後今日までの間、東京第一弁護士副会長、弁護士会長、日本ラグビー蹴球協会理事を歴任。現在各種会社の顧問弁護士として民商法、労働法など民事専門である。

家族は文枝夫人と同母の三人。関西、滝根（初段）、碧雲囲碁、将棋（初段）など多趣味。郷土への一言は「詳細な郷土史を知りたい。我々を始めとして郷土の歴史を知らないことは淋しいことである。」

## 八坂商事株式会社社長　八坂雅二（やさか まさじ）（田代）

明治十八年生。同四十二年朝鮮会社で鉄道商を開業、同八年本社を東京に移しシベリヤ商事会社社長となる。その後、東京八坂運輸、関西コルク社長、日本マニラ麻綱商業組合、日本コルク工業統制組合、同協同組合日本麻製品配給統制組合ラジオストックで貿易商を開業、同八年本社を東京に移しシベリヤ商事会社社長となる。その後、東京八坂運輸、関西コルク社長、日本マニラ麻綱商業組合、日本コルク工業統制組合、同協同組合日本麻製品配給統制組合

# 青年学級めでたく閉講

## 受講者は三地区二百名

去る一月から四ヵ月間にわたつて開講された市内三地区の青年学級は、それぞれの課程を終え次の通り閉講した。括弧内は延時間と受講数

▲鳥栖（安楽寺、水屋赤川を含む）一〇〇時間二二人

▲籠（四五時間三二人＝女

▲畑（七〇時間四七人）

なお、この期間中の活動者や連営協力者や次の通り表彰した。

△出席の皆勤者

熱行裕、高田敏明

★篤田地区

松雪大勝、松根義信、松雪哲夫、

# 親しみやすい郷土史を

## 〝鳥栖市史〟編さん委発足

郷土の史話や伝説をはじめ民芸、方言などを一巻に集録した「鳥栖市史」を作るための編さん委員会が鳥栖高校（▲立石芳麗（鳥栖中学）▲小林雄（鳥栖高校）▲立石芳麗（鳥栖高校）▲原口純一（元瓜生野）▲馬渡正人（鳥木）▲松浦根士（大正町）

として委嘱することになつた。

これは、かねて各方面に要望があつたもので、来年四月一日の市制三周年の記念出版として、一般に親しみ易い郷土史を作ろうとの計画が進められている。

なお市では、編さん委員が史蹟や資料などの調査を行う場合には便宜を提供して頂く様共に、この鳥栖市史の編さんについての意見や希望のある方はどしどしご連絡願い、市出版物として、内容の充実に努めたいとの市長の談話である。

## 前号訂正

一面の電話番号変更記事中（市長公舎）とあるのは（市長宅）の誤りにつき訂正いたします。

## 次号発行は一日

次号（十五号）は六月一日二頁で発行の予定、原稿締切は五月二十日、総務課内広報係宛お寄せ下さい。

# 農民祭盛況

基里町農協では四月二十二日、基里小学校で農民祭を行つた。

これは、米麦を主体とした農業経営や技術指導を目的としたもので、鳥栖市実験農場、鳥栖警察署等より提供された関係グラフの展示をはじめ、苗代品評会、産米改良、堆肥増産等で成績を挙げた人の表彰と、県農協中央会関係による講演のあと、余興があつて基里町農民の有意義な一日であつた。

# 市民のみなさま！

私は鳥栖市に一般社会人学生を対象にした「経済専門学校」の創設を目論んでいます。教授内容は、「法律、経済、経営、税務の常識、簿記、珠算、タイプ」その他一般教養、諸師は、地元の有徳達識の士及び福岡大留米、佐賀の各大学に委嘱の予定です。現在本計画は校舎及び資金の点で行悩んでいます。地元有志の御支援を得て居ります。弁護士原憲治先生の御賛同を得て居ります。


開店御披露

この度下記に於て電気器具の販売修理を開業致しました。どうぞ宜しく御引立をお願い申上げます。

営業科目

東芝・ゼネラル製品

ラジオ・テレビ・洗濯機

螢光灯　其の他家庭用

電気器具各種

販売修理

鳥栖市田代町上町小学校前

日野電器

経営指導相談　鳥栖農業協同組合嘱託

代書相談手続　国鉄労組指定

行政書士　司法書士　税理士

鳥栖市明治通り

力丸勝海